



大野第一区 区長

野田 崇

区長として取り組む廿日市市大野第一区の運営方針は、次の通りです。

- ① 区民相互の「絆」を深め、“安心・安全・活気ある住みよいまち一区”を目標に運営します。
- ② 少子・高齢化が進む中「交流・ふれあい」・「防災」・「環境」・「福祉」の4分野を運営の基本として各分野の連携と協働を図り、環境および地域社会の変化に対応した“これからも住みたいまちづくり”に取り組んでいきます。
- ③ 活動計画に区民の皆さまの意見を反映し、積極的に参画いただくことで諸行事の活動を活性化します。

SDGsを意識したのではなく、SDGsは公表される以前から大野第一区が、活動の基本方針としてきたことです。

“安心・安全・活気ある住みよいまち一区”の現状は、完成形ではなく常に達成目標となり“より良いまちづくり”が活動課題になります。

2025問題(団塊の世代が後期高齢者に)は将来課題ではなく、現実の高齢者課題になっています。少子社会の現状と相まって、世代を超えた交流をどのように作るかを問われています。

皆さまの意見反映や参画は、“安心・安全・活気ある住みよいまち一区”に向かう、大きな力になります。“わたしは、より良い大野一区づくりにどのように参画するか、何ができるか”を主体的行動に移すことによって、交流・ふれあいが始まり、深まって「絆」になり「防災」・「環境」・「福祉」の有効な力になります。

私達は、連帯と協働によって繋がり「絆」になって、より良い一区を目指したいと思います。

区民の皆様の協力と参画なしに“より良い一区”を実現することは出来ません。廿日市市大野第一区の運営を託された役員会は、現状を分析し課題を提案しつつ、“より良い一区”SDGsの目標“住み続けたい町”を実現する先頭に立ち努力をします。